

聖徳太子の政治と飛鳥文化

旧石器

縄文

弥生

古墳

飛鳥

奈良

平安

鎌倉

室町

今日の問い

聖徳太子はどのような国づくりをめざし、どんな文化が栄えたのだろうか。

読み終えたら、最後の「問いへの答え」を見る前に、自分の言葉で答えてみよう。

1 隋の統一と聖徳太子の政治

聖徳太子の政治

聖徳太子

推古天皇のもと、蘇我馬子と協力して天皇中心の政治をめざした。厩戸皇子ともいう。

589年、**隋**が中国を統一し、朝鮮半島の国々や日本にも強い影響をあたえた。日本では、女性の**推古天皇**のもとで、**聖徳太子**(厩戸皇子)が**蘇我馬子**と協力し、天皇を中心とする国づくりをめざした。

冠位十二階

603年。家柄にとらわれず、能力のある人を役人に取り立てる制度。

聖徳太子は、603年に家柄によらず能力のある人を役人に取り立てる**冠位十二階**を、604年に仏教や儒教の考えを取り入れて役人の心構えを示す**十七条の憲法**を定めた。607年には小野妹子を**遣隋使**として送り、隋の進んだ制度や文化を学ばせた。

十七条の憲法

604年。役人の心構えを示したきまり。



遣隋使

隋の制度や文化を取り入れるために送られた使い。

2 飛鳥文化

飛鳥の仏教文化

飛鳥文化

飛鳥地方を中心に栄えた、日本で最初の仏教文化。

聖徳太子は仏教をあつく信仰した。聖徳太子が建てたとされる奈良の**法隆寺**は、現存する世界最古の木造建築である。金堂には、渡来人の子孫の鞍作鳥がつくったと伝えられる**釈迦三尊像**が納められている。

法隆寺

聖徳太子が建てたとされる寺。現存する世界最古の木造建築。

豪族も競って寺を建て、蘇我氏は飛鳥寺を建てた。聖徳太子は大阪に**四天王寺**を建てたとも伝えられる。このように飛鳥地方を中心に栄えた日本で最初の仏教文化を**飛鳥文化**といい、朝鮮半島や中国の影響を受けた国際色のある文化だった。

釈迦三尊像

法隆寺の金堂にある仏像。鞍作鳥の作と伝えられる。

問いへの答え

隋が中国を統一して東アジアに強い影響が及ぶ中、聖徳太子は蘇我馬子と協力し、天皇を中心とする国づくりをめざした。冠位十二階で能力のある人を役人に取り立て、十七条の憲法で役人の心構えを示し、遣隋使を送って隋の制度や文化を学んだ。また仏教をあつく信仰し、法隆寺に代表される、日本で最初の仏教文化である飛鳥文化が栄えた。

次は ノート で、下線に語句を書きながら確かめよう →

